

# 復興実施計画（第2期）の施策体系・事業に基づく進捗状況の概要

## ＜ 平成29年1月末時点で推定した第2期実施計画の進捗見込み ＞

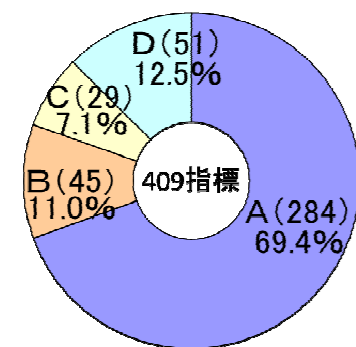
### 1 趣旨

- 「岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画（第2期）〔平成26年度～平成28年度〕」の構成事業を対象とし、復興に向けた3つの原則である「安全の確保」、「暮らしの再建」及び「なりわいの再生」の観点から、実施計画（第2期）の進捗見込み（平成29年1月末時点において、平成29年3月末の実績を見込んだもの）を示すもの。
- この進捗見込みを基に、「復興に関する意識調査」や「復興ウォッチャー調査」による主観指標、地域毎の人口動態や商工業指標などの「いわて復興インデックス」の客観指標なども含めて分析することにより、その結果を、復興実施計画（第3期）をはじめ、本県の今後の復興施策・事業に反映させていくもの。

### 2 全体の状況

- 第2期実施計画の進捗見込みは、第2期に設定した409指標中、進捗率が80%以上の指標が80.4%（329指標）となった。
- 進捗率が80%未満の80指標のうち、他の有利な制度を活用したものや実際のニーズが計画値を下回った47指標を除き、実質的に遅れが生じたものは8.1%（33指標）となった。
- 「安全の確保」については、77指標中、進捗率が80%以上の指標が74.0%（57指標）となった。  
進捗率が80%未満は20指標であり、実質的に遅れが生じたものは20.8%（16指標）となった。
- 「暮らしの再建」については、154指標中、進捗率が80%以上の指標が80.5%（124指標）となった。  
進捗率が80%未満は30指標であり、実質的に遅れが生じたものは5.8%（9指標）となった。
- 「なりわいの再生」については178指標中、進捗率が80%以上の指標が83.1%（148指標）となった。  
進捗率が80%未満は30指標であり、実質的に遅れが生じたものは4.5%（8指標）となった。

- 第2期実施計画値に対する進捗率  
・80%以上（「A」及び「B」） 80.4%（329指標）  
※実質的遅れ：8.1%（33指標）



グラフの見方：区分（指標数）  
割合（%）

区分	第2期実施計画値に対する進捗率
A	100%以上
B	100%未満80%以上
C	80%未満60%以上
D	60%未満

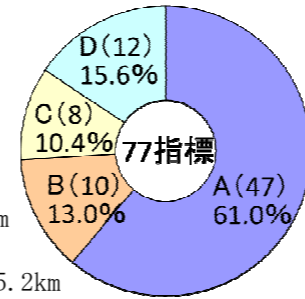
### 3 3つの原則及び10分野の取組状況

#### 安全の確保

- 第2期実施計画値に対する進捗率  
・80%以上：74.0%（57指標）  
※実質的遅れ：20.8%（16指標）

#### 第2期の主な取組

- 防災のまちづくりでは、海岸保全施設等の整備は、遅れが生じているものの、防潮堤等を15.5km整備し、完成延長は20.0kmとなった。
- 交通ネットワークでは、復興道路の整備が進み15.2kmが供用され、供用延長は51.7kmとなった。  
県が管理する港湾では、小本港、大船渡港、宮古港の復旧が完了し、港湾貨物を取り扱う主要な岸壁が完成するとともに、国において、湾口防波堤等の復旧・整備が進められた。

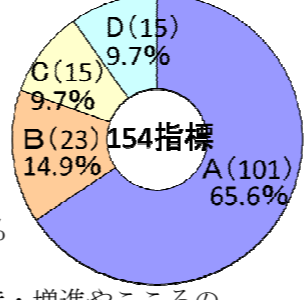


#### 暮らしの再建

- 第2期実施計画値に対する進捗率  
・80%以上：80.5%（124指標）  
※実質的遅れ：5.8%（9指標）

#### 第2期の主な取組

- 生活・雇用分野では、遅れが生じているものの、災害公営住宅を4,014戸整備し、供給割合は80.6%となった。
- 保健・医療・福祉分野では、被災者の健康の維持・増進やこころのケアなどの支援に引き続き取り組んだ。また、平成28年5月に県立大槌病院、同年9月に県立山田病院が開院した。
- 教育・文化分野においては、平成27年3月に県立高田高校の校舎が完成し、県立学校の校舎の復旧が完了した。また、全市町村においてスクールカウンセラー等の活用による心のサポートなどの支援を実施した。
- 地域コミュニティ分野では、セミナーやフォーラムの開催、先進事例の紹介等により地域活動を支援した。
- 市町村行政機能分野では、国などと連携して県内外の自治体に応援職員の派遣要請を行うなど、被災市町村の復興事業の推進等に必要マンパワーの確保に取り組み、延べ2,113人を確保した。

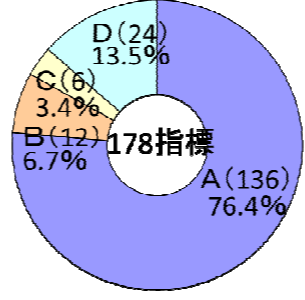


#### なりわいの再生

- 第2期実施計画値に対する進捗率  
・80%以上：83.1%（148指標）  
※実質的遅れ：4.5%（8指標）

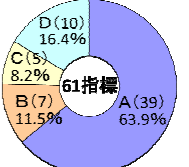
#### 第2期の主な取組

- 水産業・農林業分野では、漁港災害復旧が進み、県管理31漁港すべてで復旧が完了したほか、漁船や養殖施設は、ほぼ計画通り整備された。  
また、大規模園芸施設の整備や農地の復旧と併せた水田の大区画化などのほ場整備を実施した。
- 商工業分野では、192件（第1期・第2期累計1,436件）のグループ補助を行ったほか、起業や第二創業の支援などにより中小企業等の再建を支援した。
- 観光分野では、沿岸地域への誘客を促進するため、大型観光キャンペーンを展開したほか、海外旅行博等への出展や海外旅行会社等の招請を実施するなど国際観光の推進にも取り組んだ。



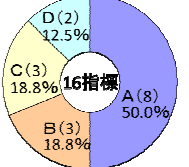
#### I 防災のまちづくり

- ① 進捗率80%以上：75.4%（46指標）  
被災地における防犯座談会等の実施回数（地域防犯活動促進事業）など
- ② 進捗率80%未満：24.6%（15指標）  
実質的遅れ 18.0%（11指標）  
防潮堤等完成延長（海岸保全施設整備事業）など



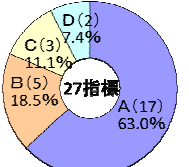
#### II 交通ネットワーク

- ① 進捗率80%以上：68.8%（11指標）  
道路改良延長（復興関連道路整備事業（代行））など
- ② 進捗率80%未満：31.3%（5指標）  
実質的遅れ 31.3%（5指標）  
復興支援道路の整備完了箇所数（復興支援道路整備事業（改築））など



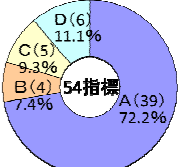
#### III 生活・雇用

- ① 進捗率80%以上：81.5%（22指標）  
利用者件数（ジョブカフェいわて管理運営事業）など
- ② 進捗率80%未満：18.5%（5指標）  
実質的遅れ 3.7%（1指標）  
災害公営住宅整備（供給割合）（災害公営住宅等整備事業）など



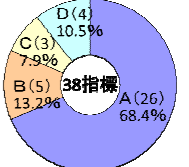
#### IV 保健・医療・福祉

- ① 進捗率80%以上：79.6%（43指標）  
こころのケアケース検討数（こころのケアセンター等設置運営事業）など
- ② 進捗率80%未満：20.4%（11指標）  
実質的遅れ 5.6%（3指標）  
保健センターの再建支援施設数（市町村保健センター復旧支援事業）など



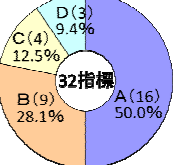
#### V 教育・文化

- ① 進捗率80%以上：81.6%（31指標）  
アスレティックトレーナー活動回数（アスレティックトレーナー派遣事業）など
- ② 進捗率80%未満：18.4%（7指標）  
実質的遅れ 5.3%（2指標）  
市町村施設数（公立文化施設災害復旧事業）など



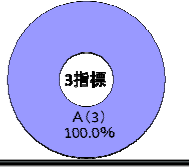
#### VI 地域コミュニティ

- ① 進捗率80%以上：78.1%（25指標）  
地域福祉活動コーディネーター育成数（地域福祉活動コーディネーター育成事業）など
- ② 進捗率80%未満：21.9%（7指標）  
実質的遅れ 9.4%（3指標）  
マップづくり市町村数（災害時要援護者支援対策事業）など



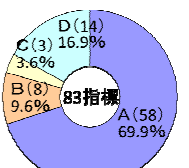
#### VII 市町村行政機能

- ① 進捗率80%以上：100.0%（3指標）  
行財政コンサルティング実施沿岸市町村数（被災市町村行財政支援事業）など



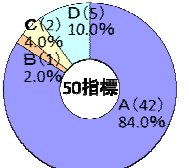
#### VIII 水産業・農林業

- ① 進捗率80%以上：79.5%（66指標）  
工事完了漁港数（漁港災害復旧事業（漁港施設等本復旧））など
- ② 進捗率80%未満：20.5%（17指標）  
実質的遅れ 9.6%（8指標）  
防潮堤等完成延長（海岸保全施設整備事業）など



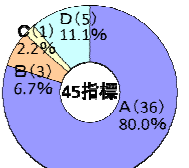
#### IX 商工業

- ① 進捗率80%以上：86.0%（43指標）  
新規取引件数（自動車関連産業創出推進事業）など
- ② 進捗率80%未満：14.0%（7指標）  
実質的遅れ 0%（0指標）



#### X 観光

- ① 進捗率80%以上：86.7%（39指標）  
情報発信件数（三陸鉄道復興情報発信事業）など
- ② 進捗率80%未満：13.3%（6指標）  
実質的遅れ 0%（0指標）



## 第2期実施計画値に対する進捗率80%未満の指標について

- 第2期実施計画値に対する進捗率のうち、進捗率60%以上80%未満（「C」）は7.1%(29指標)、進捗率60%未満（「D」）は12.5%(51指標)であり、**進捗率が80%未満は19.6%（80指標）**。
- これら進捗率80%未満の80指標について、**進捗が遅れている主な要因から**、以下のように分類。

分類		指標数	内容
1 実質的遅れ	① 復興まちづくり計画との調整等	4	復興まちづくり計画と調整中で事業区域が未確定のものや復興まちづくり事業の進捗状況に合わせる必要があるものなど ・市町村の復興まちづくり計画との調整に時間を要したもの ・土地区画整理未了等により事業区域の確定に時間を要したもの
	② 関係機関等との協議	14	事業区域が概ね確定しているものの、国、市町村、住民や事業主体などとの協議に時間を要しているものなど ・市町村、漁協、鉄道事業者、住民などとの協議に時間を要したもの ・市町村施設への補助事業で、市町村において実施設計に時間を要したもの
	③ 他事業との調整	6	他事業の進捗や地域の実情に合わせ、実施時期を調整しているものなど ・他事業により生じた支障物件の移転等の必要が生じたもの ・事業現場が他事業の作業場等として利用されているもの ・他事業の残土利用のため工期を調整する必要が生じたもの
	④ その他	9	荒天による作業不能期間の発生や施工条件の変化により時間を要したものなど ・台風第10号やその他の荒天による影響により、工期の変更が生じたもの ・施工条件の変化により、基礎工法等を変更する必要が生じたもの
	計	33	
2 その他	⑤ 他制度活用	10	国、市町村などが行う他の有利な制度が活用されたもの ・市町村などの他の制度の充実により、県事業の活用が進まなかったもの ・民間の助成や融資制度の利活用により、県事業の活用が進まなかったもの
	⑥ 被災地のニーズ少	24	当初の計画値より被災地のニーズが少なかったもの ・補助事業への応募者が当初の見込みを下回ったもの ・研修会の参加者が当初の見込みを下回ったもの
	⑦ その他	13	後継の別事業で対応しているものなど ・事業は完了しているものの、他事業との調整により供用を開始していないもの ・状況の変化により、別事業により対応することとしたもの ・補助事業の採択基準を満たす応募が少なかったもの ・企業等の協力のもとに実施する事業や誘致を行う事業で、相手方の方針変更等により、当初の計画値を達成できなかったもの
	計	47	
合計		80	

- 「1 実質的遅れ」に分類した33指標（全指標中8.1%）については、依然として被災地でのニーズが満たされていないものであり、第3期は、特にこの分類に該当する事業の推進を図っていかねばならない。
- それぞれの要因に分類される主な指標項目は、以下のとおり。

### 1 実質的遅れ

#### ① 復興まちづくり計画との調整等

- ・災害公営住宅整備（供給割合）（災害公営住宅等整備事業）
- ・県立病院整備数（被災県立病院整備事業）

#### ② 関係機関等との協議

- ・復興支援道路の整備完了箇所数（復興支援道路整備事業（改築））
- ・保健センターの再建支援施設数（市町村保健センター復旧支援事業）

#### ③ 他事業との調整等

- ・海岸堤防完成延長（海岸保全施設災害復旧事業）
- ・市町村施設数（公立文化施設災害復旧事業）

#### ④ その他(実質的遅れに分類されるもの)

- ・防潮堤等完成延長（海岸保全施設等整備事業）
- ・警察宿舎の再建戸数（警察施設災害復旧事業）

### 2 その他

「2その他」に分類した47指標については、他制度の活用や、被災地のニーズが少ない等の要因により、指標上、計画値が未達成となったものであり、「実質的遅れ」に分類されないもの。

#### ⑤ 他制度等の活用

- ・二重債務対策支援件数（岩手産業復興機構出資金）
- ・既往債務補助戸数（災害復興住宅融資利子補給事業）

#### ⑥ 被災地のニーズ少

- ・県の支援事業により、活動再開に至った団体数（郷土芸能復興支援事業）
- ・被災市町村において創設準備に入る市町村数（総合型地域スポーツクラブ創設・育成事業）

#### ⑦ その他(実質的遅れに分類されないもの)

- ・受入セミナー開催回数（いわてインバウンド新時代戦略事業）[他の主体によるセミナー開催が充実してきたことから、事業を見直し、新たに多言語コールセンターを整備することで更なる受入態勢強化を図ることとしたもの]